

ふれあい

令和 元年12月 第401号
 大代地区コミュニティ推進協議会
 (広報部)
 事務局：大代地区公民館
 TEL 022-364-8442
 fax 022-364-8453

掲載目次

- 広報400号到達に伴う取材を受けました 2
- 大代地区婦人防火クラブ移動研修会に参加して 3
- 山茶花大学後期講座開始 3
- 令和元年度多賀城市市政功労者 4
- 新年を祝う会について 4
- ダイケンゴルフ大会結果 4



**11月20日 山茶花大学
「遺跡が語る災害の歴史」**



10月30日 山茶花大学 「気象情報と災害」

広報「ふれあい」400号到達に 伴う取材を受けました

広報部

11月12日(火)、大代地区公民館において、広報「ふれあい」が400号に達したことについての多賀城市からの取材を受けました。昭和61年に第1号(回覧)が発行されたときは、毎月の発行ではない不定期の発行で、地域の情報を掲載していました。当時の区長さん、コミュニティ推進委員さんなどの記事もあります。

取材を受けるにあたり、以前の広報「ふれあい」を眺めながら、大代の歴史を懐かしく見直すことができました。

見直して気づきました。300号の発行が、東日本大震災の前月の発行で、301号は、震災の4ヶ月後に発行されています(300号は平成23年2月発行。301号は平成23年6月発行)。一時、広報「ふれあい」の発行ができない状況がありましたが、当時は、大代地区公民館にも津波が押し寄せ、閉館していましたので、印刷や梱包は多賀城市民活動サポートセンターに機械をお借りして行っていました。大代地区公民館の機能も市役所に移っておりましたので、編集会議も他施設をお借りし

て行っていました。あの時は、色々な方のご協力を経て地域の皆様にお届けすることができました。

(取材の様子)



取材は、自身の担当や、これまで行ってきて感じたことなど、約2時間にわたり行われ、佐藤広報部長は、今まで長いこと編集作業を行ってきたが、大変だったと思っただけではないとのことでした。佐藤部長は、初期のころから広報「ふれあい」の編集に携わっています。

現在は3名の部員と事務局職員で毎月1回の広報「ふれあい」編集会議、1回の印刷配布を行っています。今後も毎月発行する予定です。500号に到達するのは約8年後となります。これからも、大代地区の変化をとらえながら、地域の情報、イベントなども掲載してまいります。

広報「ふれあい」は、現在大代地区コミュニティ推進協議会のホームページでも閲覧、ダウンロードが可能です。一部、欠番がありますが第1号からご覧いただけますので、当時を懐かしみながらご覧いただければと思います。写真などはフルカラーで見ることができません。また、広報「ふれあい」に平成20年3月第264号から平成25年5月第323号まで全58回にわたり掲載した佐藤甚六さん、渡辺巖さんが編集した「大代のあゆみ」を単独で閲覧、ダウンロードできます。大代を中心とした貴重な歴史を学ぶことができます。こちらもぜひご覧ください。

広報「ふれあい」のデータは、大代地区公民館で所有している紙の資料からデータにして公開しています。もし、欠番の広報「ふれあい」をお持ちの方がいらっしゃいましたら、大代地区公民館へお持ちいただき、データ化させていただければ、幸いです。なお、欠番は左記のとおりです。

記

○昭和61年11月第9号

大代地区婦人防火クラブ

研修会に参加して

大代西区 稲邊たつ子

11月12日(火) 8時40分大代公民館出発。東北電力様の協力で、①福島県原町火力発電所、②宮城県防災ヘリコプターの2か所を見学する研修会に参加しました。

移動中のバスの中では、皆で歌を歌い防災クイズに挑戦したりと、和やかに過ごすうち、①に到着、東北電力社員様の案内で、東日本大震災の被害状況と復旧の推移を伺い施設等の説明をしていただきました。それから、DVDにて東日本大震災の被害状況や発電所の仕組み、原町火力発電所は石炭燃料で、化石燃料(石油・石炭・天然ガス)の中では経済的であること。資源を持たない日本にとっては優れた燃料であるという事が理解できました。また建物の15階からは津波でのタンカーの被害状況や、広大な敷地面積(ディズニールランド3個分とか)の説明を受け余りの広さに驚きました。

昼食後岩沼市にある②へ移動しました。ここでもDVDにて東日本大震災の状況また防災ヘリが実際救助活動した映像等を見せていただきました。

その後、防災ヘリコプターを見学、10月の台風19号による大郷町粕川地区の災害救助活動をしてきたそうです。危険な作業をしている隊員の皆様に深い感銘を受けました。

東北電力様には安心して安全な電気の供給を願いました、危険を顧みず救助活動に従事している消防の皆様の手を借りることがないような生活を心がけたいと思いました。



山茶花大学後期講座開始

10月30日(水)から高齢者大学の「山茶花大学」の後期講座が始まり、30日の1回目の講座は、TBC気象台の星野誠気

象予報士をお招きし、気象情報と災害についての講話をしていただきました。



以前だと、異常気象と言われていた現象が、近年は、頻繁に発生するようになり、西日本豪雨や、千葉県の災害、今回の台風19号による全国的な被害など、気象災害の情報収集を、もう一度見直すきっかけとなりました。特に災害の発生レベルについては、レベル1から5までの情報が発表されますが、低いレベルの発令でも油断せず、安全を確保する行動をとること。「認知バイアス」という、「自分だけは大丈夫」と感じてしまう人間特有の精神状態があり、これにより、非難が遅れ、重大な結果を招くこともあるということを学びました。心理的な部分からも災害に対する備えを学ぶことが注目されていて、災害から身を守るための貴重な講座でした。

11月20日には、2回目の講座が行われ、高橋守克先生による、「遺跡が語る災害の歴史」と題した講座が行われました。

日本は、古来から、災害による被害が多い国です。過去の遺跡発掘の資料から、当時の人たちが、どのような被害を被り、どのように対応し、伝えられてきたのかを学びました。

もしかすると、以前よりも被害が大きいのではと感じるほど、昨今の災害は大きな爪痕を残します。星野気象予報士と守克先生のお話を聞いても、自分や周りの人との連携と備え、特に心がまえが重要であると感じました。

令和元年度

多賀城市市政功労者（大代関連）

○市政功労者表彰

（地方自治功労）

三浦 徳男 さん

（教育・文化功労）

杉山 幸次 さん

（保健衛生功労）

鈴木 俊治 さん

田村 昭男 さん

表彰された方、おめでとうございます。

大代地区コミュニティ推進協議会

「新年を祝う会」について

地域づくり部

日 時 令和2年1月11日（土）

午前11時から午後1時まで

場 所 小野屋ホテル

会 費 3500円

参加申し込みは、新年を祝う会のご案内チラシに付いている申込用紙にご記入の上、会費を添えてお申し込みください。申込は、各区の担当者（12月26日まで）又は大代地区公民館窓口（1月5日まで）までお願いします。なお、各区の担当者は、次のとおりです

「第6回東北ダイケン杯グラウンド

ゴルフ大会結果について」

去る11月16日（土）に、うしちゃん多賀城緑地公園内サッカー場で、第6回東北ダイケン杯が開催されました。日頃の練習成果を皆さん発揮されました。入賞者は、次のとおりです。

男子の部

優勝 針生 吉治 様

第2位 南部 英明 様

第3位 山内 馨 様

第4位 佐藤 松雄 様

第5位 佐藤 貞雄 様

女子の部

優勝 遠藤 タツ子 様

第2位 佐藤 洋子 様

第3位 内ヶ崎 しか子 様

年末年始休館日のお知らせ

大代地区公民館の年末年始の休館日は、左記のとおりとなります。多賀城市立図書館大代分室の玄関に設置されている返却箱もご利用ができません。

記

令和元年12月28日（土）から

令和2年1月4日（土）まで